

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日:

事業所名: 放課後等デイサービス 放課後等デイサービス とことこ弘明
寺教室

対象人数(保護者)37人 回答者数 21人 回収 56.8%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	3		こども達が成長とともに体格が良くなってきているので、狭くないのかなと思います。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	16	5		スタッフの方の専門性について、知る機会がないので、紹介があるといいと思います。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	10		教室までは階段のみのような気がします。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	20	1		
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	21			
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	9	8	わからなかったのでどちらともいえないにしました。 わからない 特にそこに重きを置いてはいないので、気にはならないです。
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	2		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	20	1		帰宅時に、最近の様子などしっかり教えて頂き、一緒に生活していて見ない一面などもあり、凄く助かります！
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	2		聞いたら、親身に答えて頂き時計の見方など根気強くみて下さり、達成する事ができました。 面談をしっかりして下さるのが、安心感につながります。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	7	8	夏祭りなど楽しみに参加しています。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	8		苦情があった場合がないのでわからない 苦情事例がないため不明
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17	4		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	20	1		
非常時 等の 対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	6	4	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18	3		
送迎 対応	⑰	送迎は正しく行われているか	20	1		とても丁寧です
満足 度	⑱	子どもは通所を楽しみにしているか	16	4	1	行くものとなっているから行っている感じですが、拒否しないで行ってくれている時は、それで良いと思っています。楽しみになれば、それはとても嬉しいです。
	⑲	事業所の支援に満足しているか	19	2		小学校のキッズクラブとも連携会議をしていただき、いつも子どものために尽力いただいて感謝しております。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	57%	43%	0%	死角がある。満員の際はやや狭い。 利用人数が多いとやや狭く感じることがある。 定員になると、やや狭いかと思う。ロッカーの数が増やせたら良いと思う。
	2	職員の配置数は適切であるか	29%	71%	0%	今後支援者が増えることが望ましい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	29%	57%	14%	教室までは階段のみ。教室内は視覚情報が多い。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	57%	14%	29%	より統一した支援を考えたい。 振り返りなどの意見交換は、日常的に行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	集計したアンケートを職員間で確認し、指摘事項については個別に取り上げ、共有している。 HUGにてアンケートを実施している。 モニタリング結果などで情報を得ている。 アンケート結果では、高い評価を頂いている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	86%	14%	0%	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	29%	14%	57%	外部評価の実施有無は分からない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	71%	29%	0%	年間研修計画を立てて、項目ごとに皆が参加できるようにしている。 より外部の研修を取り入れてほしい。 これからも意欲的に参加していきたい。 発達障害の子どもの様々なケースについて研修の機会があればと思う。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	71%	29%	0%	保護者のニーズに応じて指導計画を作成し、個別にチャレンジタイムとして実行に移している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	43%	57%	0%	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	86%	14%	0%	MTGを通して活動内容を考え、共有している。 常勤の職員で行われている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	どの曜日に来てでも活動が経験できるように、一週間同じプログラム(テーマ)を組んでいる。 ご利用者様(児童生徒)が楽しめるように工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	71%	29%	0%	平日・長期休暇それぞれでできないイベントを考えるよう努めている。 イベントは、立案されている。 遠足やお祭りイベントなどを多く出来るように考えている。 休日や長期休暇には、社会科見学や体験活動などの課題を決めている。
	14	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	86%	14%	0%	個別と集団の活動に分かれて、適宜組み合わせている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	86%	14%	0%	毎日の朝礼で前日の振り返りと本日のご利用者様への注意点を共有している。 毎日朝礼後に振り返りや打合せを行っている。 支援前には、支援の内容や方法、振り返り事項は共有している。

関係機関や保護者との連携	16	支援終了後」には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	57%	43%	0%	翌営業日の朝礼後に行うようにし、職員間で情報を共有している。 その日のうちには、時間がなく出来ていないことが多い。 その日あったことの情報共有はしている。 時間的に余裕がなく、翌日になってしまうこともある。
	17	日々の支援に関して、正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	71%	29%	0%	業務日誌を活用し、記録を取りそれを使って振り返りを行っている。 引継ぎ簿にて記録を取るよう心掛けている。 その時々々の行動などで気づいたことは引継ぎ簿に書くようにしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	半年に一度ご来所いただき、保護者との面談を実施している。 モニタリングを定期的に行い、子どもの成長に合った計画づくりを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	71%	29%	0%	支援の中で組み合わせて行っている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	71%	29%	0%	「最も」ふさわしいかは疑問。
	21	学校と情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%	0%	0%	HUG・LINE・送迎の際に保護者と確認を行っている。 随時行っている。適宜行えていると思う。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	43%	29%	29%	医療的ケア児の受け入れをまだしていないため、マニュアルが不明。 不明。 保護者との連絡体制はとれている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	14%	57%	29%	情報共有をし、理解はしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	43%	57%	0%	不明。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0%	57%	43%	不明。
関係機関や保護者との連携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	43%	29%	29%	キッズ利用後のお迎えを呼び掛けている。 ログハウスや公園に行き、一緒に遊ぶ機会がある。 ログハウスなどでの交流はある。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	0%	57%	43%	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	MTG・朝礼を通して職員間で情報共有を行っている。 送迎時に行っている。 定期的にモニタリングをし、情報共有をするようにしている。 送迎時の添乗の際に、保護者に伝えられている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	43%	14%	43%	面談の時に保護者にアドバイスを通してお伝えしている。 モニタリングの時に、様々なアドバイスをしている。
	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	86%	14%	0%	契約時に丁寧に、確実に伝えるようにしている。 契約時に読み合わせをしている。
	31	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	71%	29%	0%	今後、保護者会などの集いの場で、相互の意見交換ができたと思う。 保護者会などを通じて支援に繋げて実行できたらと思う。

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	29%	29%	43%	保護者参観を通してご利用者様(児童生徒)と保護者の関りを持てるようにしている。 夏祭りなどのイベントに保護者が参加し、交流する機会がある。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	57%	29%	0%	イベントや見学会実施のチラシを作成し、配布・掲載している。 毎月、予定表を配布している。 インスタグラムで活動の様子を知らせている。インスタなどで発信している。 月間スケジュール表の活用(子ども用スケジュール表の作成)をしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	86%	0%	0%	送迎時に保護者との会話に努力している。 送迎時など保護者と関わる場面で情報共有している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	43%	0%	57%	希望者はいなかったが見学会では、友人等の紹介を促した。 法人内の老人施設などへ訪問することがある。 老人施設への訪問などで交流をしていけたらと思う。 コロナ禍ということもあって出来ていないこともあった。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	57%	43%	0%	定期的実施している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	年2回支援(プログラム)に取り入れ、避難訓練を実施している。 いっとき避難場所である近隣神社への避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	86%	14%	0%	その都度の話し合いがある。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	43%	57%	0%	支援計画ではなく、契約書に明記していると思われる。 身体拘束を必要とするご利用者様(児童生徒)がいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	71%	29%	0%	おやつへの配慮はしている。 おやつをその子に応じたものにしていく。 アレルギーや好みに応じて対応をしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	86%	14%	0%	記録に残し、全職員に共有している。 作成しているか不明。

職員による自己評価

A 環境面

- ・ 利用人数が多い日はスペースがやや狭く感じる。

B 児童への支援内容

- ・ 経験を大切にプログラム設定をしている。
- ・ 朝のミーティングで共有や改善の時間を設けている。

C 関係機関との連携

- ・ 学校やキッズクラブと連携会議を行っている。
- ・ 送迎の際に保護者、学校と連携・情報共有をおこなっている。

D 保護者への説明責任・信頼関係

- ・ 定期的にモニタリング面談を通して関りを持っている。

E 非常対応

- ・ 迅速に対応するように心かけている。

保護者による評価

A 環境面

- ・ 教室までは階段のみしかない。
- ・ 成長と共に体格も良くなるのでスペースの広さが心配。

B 児童への支援内容

- ・ 長期休暇はイベントが多く子どもも楽しみにしている。

C 事業所からの情報発信

- ・ 送迎時に様子等しっかり教えてくれている。
- ・ 面談があるので安心している。

D 非常対応

- ・ 苦情事例がまだないので不明。

事業所内での分析

【共通点】

- ・ 利用人数に対しての教室内スペースが狭く感じる時がある。(成長と共に体格も良くなり、高学年が増えてきている)
- ・ イベントが多く子どもが楽しみにしている。
- ・ 面談等で保護者とコミュニケーションを取る機会を必ず作っている。

【相違点】

- ・ 職員の保有資格、研修実施をお伝えする場がない。
- ・ 非常災害時の対応やマニュアルがわからない。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・豊富な集団活動の取り組み・外出行事あり。
- ・特性に応じ、個別支援計画書をもとにした小集団活動実施。
- ・法人内での他教室、施設とのコラボイベントあり。
- ・全児童が同じ活動を経験できるプログラム設定。
- ・朝のミーティング時に子どもの共有、業務改善、対策を話し合っている。

事業所の改善点

- ・子どもたちのニーズに応じた環境設定、スペースを分けていく。
- ・職員の保持資格、研修実施等の紹介場を検討していく。
- ・各マニュアルを策定し、保護者に周知・説明を行う。

事業所の改善への取り組み

- ・環境設備を整え、安全確保と子どもが過ごしやすい居場所を作る。
- ・子ども、保護者が安心して利用できる環境を整える。
- ・支援内容やイベントの幅を広げるため職員間での情報収集やミーティングの時間を増やす。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

数年コロナ禍で外出活動やイベント等実施が少なかったが徐々に落ち着いてきたことで今年度は少しずつ実施することができた。→外出、イベントのニーズが高い事が認識できた。
保護者が感じていること職員が感じていることの認識が改めてできた。
改善・見直しをし引き続きご満足いただける教室を目指していきます。

事業所名 とことこ弘明寺教室

担当者 服部 麻希